（様式2（1））

事業所名　グループホームつくし朝日

作成日：令和 4 年　5月　26日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	・運営推進会議で事故・ヒヤリハットを記載報告をしているが、ヒヤリハット数に比べて事故数がうわまっている。ヒヤリハットの意義を理解し、各月事故数、ヒヤリハット数への折れ線グラフ活用による見える化推進による更なる事故数減へ向けた活動が期待される。	・ヒヤリハットの重要性への勉強実施 ・日常支援場面でのきずきメモに残す。	ヒヤリハットが上がった時にはユニット会議で大きい事故に繋がらないようにする対応策や注意点、共有を行っていく。また事故報告書に至った時には事故報告者に研修を実施し、レポートの提出をしてもらうようにする。	1ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。